

ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2009年6月

コミッティ活動

Accounting: 担当森田(tmorita@isda.org)

企業会計基準委員会(ASBJ)と国際会計基準審議会(IASB)との間で、2011年を目途として会計基準のコンバージェンスを進めることについて合意した「東京合意」を反映した「金融商品会計の見直しに関する論点の整理」が、企業会計基準委員会より公表された。資料の論点には、金融商品の対象範囲、時価会計、ヘッジ会計が含まれる。ISDAはコメント締切の7月29日までに意見書を提出する予定。

Collateral: 担当森田(tmorita@isda.org)

コラテラル担当者用の日本語による CSA 概説書が公表され、6月8日に開催された Japan Collateral Committee ミーティングの場で、メンバーに配布された。ミーティングでは、6月2日に FED に提出したいいわゆる Fed Letter で言及されている、日次の電子ポートフォリオ照合、コラテラル dispute 発生時の解決方法、(OMG メンバー以外の)日本市場参加者へ与える影響など、Industry commitments についての説明も行われた。

6月23日、Japan Collateral Committee の二度目のミーティングが開催され、担保取引における税金と法律上の問題に関して話し合いが行われた。内容は、6月24日に公布された、顧客資産の分別管理の対象範囲を変更する金融商品取引法の改正案について。

Credit Derivatives: 担当森田(tmorita@isda.org) / 難波(knumba@isda.org)

2009年の ISDA Japanese Credit Derivatives Market Survey の結果が Japan Credit Derivatives Committee のメンバーに報告された。本邦クレジットデリバティブ市場の活動についての、この詳細な調査は、主要商品の取引量の推移を調べることに本邦クレジットデリバティブ市場の発展の妨げとなっている要素を特定することを目的としている。

日本銘柄参照CDSのセントラルクリアリングの可能性に関して、多様な問題を検討する場を設けることについて、Credit Derivatives コミッティメンバーを対象に調査を行った。その結果、Japan Credit CCP Working Group が新設され、第一回目の会合が6月23日に開催された。議題は日本銘柄参照CDS取引を対象とするCCPの設置について。

Equity Derivatives: 担当難波(knumba@isda.org)

ISDA は Japan Variance Swap Working Group のメンバーに対し、Japanese Index Variance Swaps における MDE ルールについて検討した前回の電話会議で決議持ち越した論点につき、各社内で検討した結果をフィードバックするよう依頼した。次回のWGミーティングは7月10日に開催予定。

コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

Japan Accounting Committee (日本語による会議)	7月1日
CDS Standardization Working Group (日本語による会議)	7月8日
Credit CCP Working Group (日本語による会議)	7月9日
Japan Variance Swap Working Group	7月10日

(英語による電話会議)

Japan Operations Committee

(日本語による会議)

tbc